

五〇〇の襲撃を受けたが直ちに之を撃退した。我損害戦死一員傷一員
敵は約五〇の死体を遺棄して潰走した。

五月十七日午後二時四十分松浦(哈市)北側松花江對岸守備隊に對し敵騎三〇〇徒歩攻撃せしも之を撃退す。我が損害兵一員傷一員敵の損害多数の見込。同日午後五時同守備隊に對し再び敵約一六〇〇攻撃し赤りしを以て同守備隊に一部を增加し十八日拂曉より敵を攻撃中。

88
第十師
三三姓附近の敵は十三日未松花江河孟

「カボク」と及三姓東南への料及勃利方面に退却を開始したるものの如く、第十師団は十七日敵の抵抗を受くることなく、三姓に入川し、丁超は「カボク」と（松花江河孟）李杜は勃利方面に退却したりとの噂あると明かならず。

五月十七日午後二時四十分松浦（哈市）北側松花江對岸に守備隊に對し敵騎三〇〇の徒歩攻撃せしむ之を撃退す、我が損害兵の即死一員傷一、敵の損害多数の見込、同日午後五時同守備隊に對し再び敵約一六〇の攻撃し、未りしを以て同守備隊に一部を増加し十八日拂曉より敵を攻撃中。

三三姓附近の敵は十三日未松花江河孟

カボクシ及三姓東南への料及勃利方面に退却を開始したるもの如く、第十師団は十七日敵の抵抗を受くることなく、三姓に入札し、丁超はカボクシ（松花江河）李杜は勃利方面に退却したりとの噂あるも明かならず。

新聞発表表第五八四号 五月十八日

奉天五月十八日 陸軍省着電

滿洲國軍
兵匪討伐

一、李海青の率ゆる兵匪は十五日肇州附近より肇東方面に移動を開始し、同夜肇東城外に於て黑龍江省軍と衝突し戦闘は續けられてゐるが、黒省軍の増援隊が逐次到着したため、同軍は十七日朝より攻勢に轉じてゐる。扶餘附近にある約千五百名の兵匪は、